

手で考えて



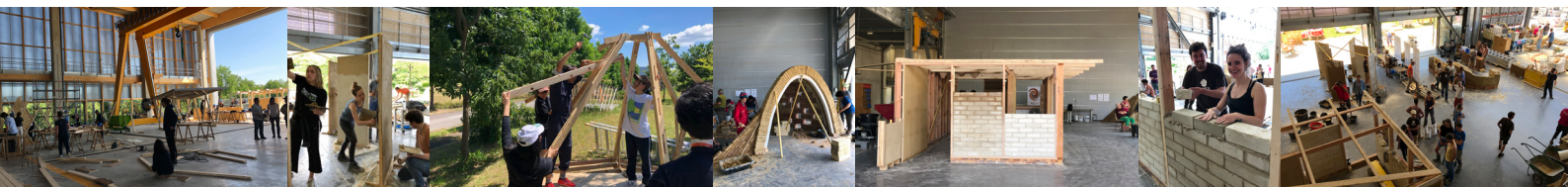
身体

これからの建築教育

フランスの実例と
日本との交流を通じて

つくる

主催 富山大学 芸術文化学部萩野研究室 共催 一般社団法人 日本左官会議 協力 日本建築学会 建築教育委員会 デザイン/ビルド設計教育WG



日時

2020年1月12日(日)

15:30~18:00 15:00 受付開始

会場

東京大学 弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

参加費

無料

スピーカー

ジャン＝マリー・ルティック

(建築家・グルノーブル国立建築大学土建築研究所「クラテル」建築デザイン部門責任者)

マキシム・ボヌヴィー

(建築家・建築研究/実践機関「グランザトリエ」代表)

丸山欣也

(建築家・アトリエモビル主宰・有形デザイン機構理事長)

松木憲司

(左官職人・蒼築舎代表)

コーディネーター

萩野紀一郎

(建築家・富山大学芸術文化学部准教授)

建築の現場や設計においても教育においても、コンピュータ化が急速に進んでいます。

その一方で、身体を使うリアルな建築教育の大切さが見直されています。

フランスの建築系大学では、自分の手で建造物をつくる授業が必修だといいます。
環境への意識を育て、建築を持続可能にしていくためにも重要だと考えられるからです。

そこで、フランスの土建築研究所「クラテル」のジャン＝マリー・ルティエックさん、
建築研究／実践機関「グランザトリエ」のマキシム・ボヌヴィーさんを迎え、
彼らと長年交流を持ち、国内外で建築のワークショップを繰り広げてきた建築家の丸山欣也さん、
フランスやイタリアで土壁のワークショップを指導する左官の松木憲司さんの活動を紹介します。

原寸大でモノをつくる教育方法の意義・課題・多様性や可能性などについて、みんなで考える場となれば幸いです。



ジャン＝マリー・ルティエック Jean Marie Le Tiec

グルノーブル国立建築大学・土建築分野修士課程修了。2005 年より、同大の環境 / 建築文化研究室のプロジェクトマネージャー。2006 年、自身の建築事務所 NAMA を設立すると共に、グルノーブル国立建築大学土建築研究所「クラテル（CRAterre）」の建築デザイン・施工部門責任者に就任。現代的な土建築のデザインと建設を現場レベルで支援しつつ、土建築技術のフランス国内基準の作成にも関わり、環境と調和し、地域文化に根差した住環境と建築のあり方を追求している。



丸山欣也 Kinya Maruyama

1939 年生まれ。早稲田大学建築学科卒業、同大学院修了。早稲田大学芸術学校、早稲田大学建築学科、ペンシルヴェニア大学、ワシントン大学などで教鞭を執る。現在、西安建築大学客員教授。「手で考えて身体でつくる」をポリシーに、日本はもちろん、フランス各地やアメリカ、ウガンダ、中国などで学生の指導にあたる。クラテルとは 20 年以上にわたって交流している。目にする事象すべてをスケッチしていることでも知られる。著書に『かたちの劇場 丸山欣也造形教室』（建築資料研究社）など。



マキシム・ボヌヴィー Maxime Bonnevie

2012 年、ローヌ＝アルプ・チームを率いて、持続可能な住宅のコンペ「ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ」で優勝。2017 年より、持続可能な建築を実験・革新するための技術的プラットフォームである「グランザトリエ」のディレクターを務める。2019 年より、都市建築への廃材再利用に特化した企業「Bellastock」代表。グルノーブル国立建築大学・環境 / 建築文化研究室による「持続可能な都市と住居」プロジェクトマネージャー。



松木憲司 Kenji Matsuki

1963 年生まれ。三重県四日市市在住。15 歳で左官職人に弟子入り、21 歳で独立。33 歳で「全国左官技能競技大会」優勝。平成 24 年度「現代の名工」表彰。平成 30 年黄綬褒章受章。2013 年、グランザトリエでクラテルが主催する土のお祭りに参加、以降、日本の土壁文化を伝えるため、毎年渡欧。イタリア各地でワークショップを行い、ミラノのデザインウィークにも出展。2019 年にはユニクロのミラノ店に 175 平米の土壁を施工した。日本左官会議理事。



萩野 紀一郎 Kiichiro Hagino

1964 年東京生まれ。東京大学、ペンシルヴェニア大学、香山アトリエなどを経て萩野アトリエ設立。2004 年石川県能登に移住し、里山の暮らしを実践しながら、木と土を活かした住宅やインテリアの設計、土蔵や古民家の保存再生を行う。2016 年より富山大学准教授。手で考えて身体でつくる建築教育を展開し、国内外の多様な事例を調査中。日本建築学会・デザイン／ビルド設計教育 WG 主査。金沢美術工芸大学・ナンシー建築大学などで非常勤講師を務める。日本左官会議支援会員。

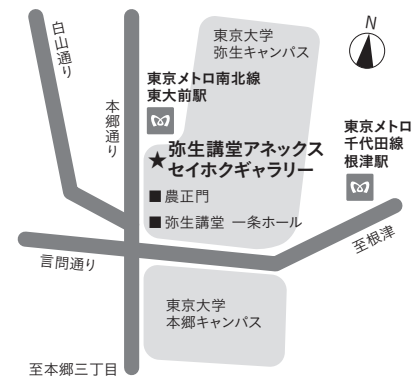


版築に使われるローヌ＝アルプ地方の土。

会場案内

東京大学 弥生講堂アネックス セイホクギャラリー
東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学弥生キャンパス内

東京メトロ南北線「東大前」駅 徒歩 1 分
東京メトロ千代田線「根津」駅 徒歩 8 分
東京メトロ・都営大江戸線「本郷 3 丁目」駅 徒歩 15 分
本郷通り沿い「農正門」入って左手すぐ
(赤門、正門とは異なりますので、ご注意ください)



問合せ

一般社団法人 日本左官会議事務局

〒103-0003
東京都中央区日本橋横山町 4-10
大原第五ビル 4B
tel 03-6823-5317 fax 03-6667-6108
mail@sakanjapan.com
https://www.sakanjapan.com
https://www.facebook.com/sakanjapan/



お申し込み

参加ご希望の方は、下記までお申し込みください。

申込みフォーム <https://www.sakanjapan.com/forum.html> もしくは
fax 03-6667-6108 下欄に記入ください。

ふりがな お名前	職業・所属・大学	懇親会 参加	希望する 希望しない ☐
メールアドレス		電話番号 (日中連絡のつく番号)	

* 定員（100 名）になり次第、締め切ります。
* 終了後、近隣で懇親会を予定しています。参加費 5500 円（予定）